

平成26年度事業報告

1. 会館の財政運営について

- (1) 会館の基本資金である会館建設基金（出資金）については、出資依頼を中止しています。そのため、新たな出資者はありませんでした。また、平成25年度から定年で退職される方には3月に出資金の返済を行うことにしています。出資金の返済は、退職等による返済が488人、4,998,000円でした。この結果出資金の残額は88,703,000円となりました。平成26年度末の若年退職者は、96名（小中81名、県立15名）となっています。定年退職者332名（小中241名、県立91名）と若年退職者を合わせた総数は、428名（小中322名、県立106名）でした。出資金の寄付の申し出はありませんでした。 決算報告書 P10

《会館建設基金・出資状況 平成22～26年度 5年間の推移（円）》 *出資21年度12,000円以降なし

平成	出資額	返済額	出資残額
22年度	0	3,822,000	107,921,000
23年度	0	3,660,000	104,261,000
24年度	0	4,266,000	99,995,000
25年度	0	6,294,000	93,701,000
26年度	0	4,998,000	88,703,000

- (2) 地代家賃は、100%納入されています。

- (3) 会議室貸料は、前年と比べ約2%の増となりました。ただ前年が低いレベルにあり、今後も活用を図っていく必要があります。 決算報告書 P11

《会議室・利用状況 平成22～26年度 5年間の推移》

平成	出資者		一般		計		対前年	対22年度
	件数(件)	貸料(円)	件数(件)	貸料(円)	件数(件)	貸料(円)	貸料(%)	貸料(%)
22年度	172	1,293,363	154	3,511,205	326	4,804,568	77	100
23年度	188	1,685,366	223	4,453,059	411	6,138,425	128	128
24年度	176	1,228,132	166	3,576,948	342	4,805,080	78	100
25年度	220	1,682,415	175	3,699,983	395	5,382,398	112	112
26年度	149	1,079,240	187	4,400,775	336	5,480,015	102	114

- (4) 会館共済事業の集束手数料は約2,850万円と減少傾向です。会館共済制度の75歳までの延長でしばらくなかった満期祝金が、5年ぶりに発生しました。また教育会館の特別給付金は、申請期間の3年間延長が落ちてきたのか、年間給付額も落ちていた状況です。 決算報告書 P14

《特別給付金・給付状況 平成22～26年度 5年間の推移（円）》

平成	出産祝金	休職見舞金	入院見舞金	退職祝金	満期祝金	医療プラン	合計
22年度	1,701,000	1,150,000	5,708,000	1,290,000	0	3,739,000	13,588,000
23年度	1,732,000	1,500,000	5,367,000	1,200,000	0	4,253,000	14,052,000
24年度	1,525,000	900,000	5,992,000	1,160,000	0	4,853,000	14,430,000
25年度	1,453,000	550,000	4,364,000	1,150,000	0	3,873,000	11,390,000
26年度	1,386,000	900,000	4,118,000	1,170,000	125,000	3,873,000	11,676,000

- (5) 各種引当は、会館共済30次記念キャンペーンのために記念事業準備を26年度も500万円を取り崩しましたが、残金は引当に戻し、現在は239万円となっています。

《各種引当・状況 平成22～26年度 5年間の推移（万円）》

平成	基本財産 減価償却	建物修繕	特別給付 準備	記念事業 準備	計	出資金 返済	退職給与	引当金 総計	繰越金	現預金 総計
22年度	10,017	3,500	4,802	789	19,110	2,700	1,370	23,178	1,924	25,105
23年度	10,783	3,300	4,802	989	19,876	2,900	372	23,146	3,416	26,563
24年度	11,549	3,800	4,802	1,089	21,241	3,200	473	24,914	2,287	27,203
25年度	12,314	3,900	4,802	589	21,607	3,200	522	25,330	1,783	27,113
26年度	13,080	3,900	4,802	239	22,023	3,200	647	25,871	562	26,434

*引当金の計上基準は次の通りです。

- ・基本財産減価償却引当 当期末の基本財産の減価償却額を引当
- ・特別給付準備引当 特別給付金の1年間の給付額の過去最高額の3倍を引当
- ・出資金返済引当 出資金残額の半額を目指して引当
- ・建物修繕引当 基本財産4億2,400万円の20パーセントを目指して引当
- ・記念事業準備引当 5年ごとの記念事業の資金1,000万円を5年間で引当
- ・退職給与引当 当期末の退職給与債務を引当

(6) 会計処理は「区分経理」により「継続事業（公益目的事業）」の適正な執行が必要です。そのため、ユース会計社（吉永公認会計士事務所）との契約を継続し、適正な処理と円滑な執行に努めました。

2. 管理業務について

(1) 夜間や休日の管理警備は、3名と業務委託契約を結び、会館を常時使用できるようにしています。会館閉鎖は12月29日から1月3日までの6日間でした。

(2) 安全管理及び設備・備品の保守については、保守契約を次のように行っています。

No	内 容	委 託 先	委 託 料
1	火災保険	共栄火災	保障 6億4,756万8千円 年掛金 254,350円
2	清掃管理	日本ビル管理	月 260,280円 ×12 エアコン 59,400円 ×2 ガラス 81,000円 ×1 年 3,323,160円
3	塵芥収集	熊本清掃社	月 24,624円 年 295,488円
4	エレベーター保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 61,560円 ×12 年 738,720円
5	防犯カメラ保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 32,640円 ×12 年 391,680円
6	自動ドア保守	熊本ナブコ(株)	年 216,000円
7	電話保守	NTT西日本	リース料月 59,980円 ×12 年 719,760円
	電話保守(センター)	NTT西日本	リース料月 8,568円 ×12 年 102,816円
8	電設保守	藤本義美	月 28,000円 ×12 年 336,000円
9	電気メーター交換	九州計装エンジニアリング	15年交換 546,000円 1年当たり 36,400円
10	消防設備保守	ユージー防災設備	半年 249,480円 ×2 年 498,960円
11	空調設備	今年度改修	発生時払い
12	ロスナイ	空研工業	発生時払い
13	会計処理	ユース会計社	月 50,760円 ×12 年 609,120円
14	複写機リース	リース満了 更新 リコーリース	年 15,552円
		リコーリース(センター)	月 8,295円 ×12 年 99,540円
15	浄水器リース	日本トリム 三菱UFJリース	リース満了により買い取り 1,080円
16	ホームページ管理	(有)オフィスウェブラン	年契約 年 282,297円
17	AED保守 パッドカートリッジ バッテリー	総合警備保障	次期交換 2015年9月 年 30,240円 2017年7月(5年交換)
18	電話消毒	(有)電商	月 3,939円 ×12 年 47,268円
19	シュレッダー	リース満了 更新 日立キャピタル	年 8,164円
計			年間保守委託料 8,006,595円

(3) 災害の未然防止と万一の災害に備えるため、年2回の防火対策委員会を開催して防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、災害発生時の避難訓練を実施しました。

5月30日の避難訓練は、「白川校区5・7町内と合同避難訓練」として実施しました。「災害時の一時避難場所提供における施設利用に関する協定書」を地域自治会と締結しています。継続的な訓練を実施していくこととしての3回目の実施でした。AEDの使い方の講習会も行いました。

11月21日の避難訓練は、火災発生による避難訓練と、本物の消火器を使い、火災発生時の初期消火のための訓練を実施しました。

また専門業者（ユージー防災設備）による消防設備点検を9月5日と3月6日の年2回実施しました。

(4) 建物の保守関係としては、1階トイレ下ピットの漏水は毎月の点検とポンプにて汲み出しで対応しています。立体駐車場のボルトの緩み対策は、年1回の業者点検等を継続しています。2階の市教組のスライディングウォールが故障し、修理を行いました。電設保守では、動力用変圧器の絶縁診断値が低下し、絶縁油を交換しました。

「大規模改修委員会」を平成26年度は5回開催し、特に空調関係の大規模改修について検討しました。空調関係大規模改修については、4月3日に業者への現場説明会を開催し、13日に「大規模改修検討委員会」で業者選定の検討を行い、5月半ばから6月末までに改修を行う予定にしています。設計・監理については大和設計と契約を結び、施工については旭電業（日立特約店）と契約を結び実施します。

(5) 平成26年度は、「教育会館ニュース」を4月（会館共済30次記念特集号）と、例年の7月、12月のあわせて3回発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用してタイムリーな情報の開示と発信に努めました。

3. 福祉共済事業について

(1) 会館共済I型『遺族生活給付金共済』『医療プラン』『介護プラン』

発足30年目を迎えた会館共済は、新規加入者が235名で加入者総数が10,981名となりました。前年より476名の減でした。『遺族生活給付金共済（生命保障）』に付加する『医療プラン』は、発足後12年間加入者が増加し続けていましたが、平成24年度より3年続けて減少となりました。昨年度より214名減の5,344名となりました。

導入4年目の『介護プラン』は、昨年度3,071名から235名増の3,306名となりました。

加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成25共済年度（平成25年9月1日～平成26年8月31日）は、死亡11人（前年度12人）で給付総額は1億4,500万円（同1億3,500万円）でした。また、医療プランの給付は172件（同182件）で給付総額は1,346万7,000円（同1,688万2,000円）でした。

会館の特別給付金（会計年度、平成26年4月1日～平成27年3月31日）は申請期間を3年間に延長して5年目となりました。特別給付金は、申請期間を3年間延長が落ちてきたのか、年間給付額が以前よりかなり少なくなっています。また非常準備基金として4800万円引き当てています。給付状況の対前年比較は下記のとおりです。

決算報告書 P12・13・14

《死亡・高度障害及び入院給付金 平成21～25共済年度（9～8月） 5年間の推移》

*過去2番目に多い共済年度 13年度 16（件） 204,000,000（円）

平成	死亡・高度障害 給付		入院 給付	
	件数（件）	給付額（円）	件数（件）	給付額（円）
21年度	13	193,000,000	190	14,599,000
22年度	12	160,000,000	193	16,150,000
23年度	19	206,000,000	193	17,297,000
24年度	12	135,000,000	182	16,882,000
25年度	11	145,000,000	172	13,467,000

《特別給付金の給付状況 平成25年4月1日～平成26年3月31日》

NO	内 容	給付件数	前 年
1	入院見舞金	5日以上	226件
		30日以上	29件
		60日以上	16件
2	医療プラン・初期入院（1日～4日）	211件	195件

3	休職見舞金	14件	11件
4	出産祝金	106件	118件
5	退職祝金	117件	115件
6	満期祝品	25件	0件
給付	総件数	744件	733件
	給付 総額	11,676,000円	11,390,000円

(2) 会館共済Ⅱ型（貯蓄型生涯保障共済）

新規加入者は8名、退職等により43名の減で加入者総数は818名（前年度861名）になりました。

(3) 傷害プラン

第22次より導入した『傷害プラン』の新規加入者は5名、加入者総数は129名（前年度127名）となりました。

(4) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(5) 共済事業の制度や運営のあり方等については、制度検討委員会で検討を行いました。30次キャンペーンに向けて、再任用の義務化に向けてのことも考慮して在職中の方は65歳6カ月まで新規加入を可能にしました。また特別給付金についても出産祝金を誕生祝金にリニューアルし、医療プランの日帰り入院を保障する制度の導入を行いました。

4. 教育文化事業について

(1) 教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの26年間で県内のべ571校に寄贈しました。26年度も寄贈校26校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は3,110万円です。平成26年度の寄贈校は下記のとおりです。

《寄贈校》 小中学校20校 県立学校6校（重点校6校）

地区	寄贈校 ○は重点校1年目 ◎は重点校2年目
荒尾玉名	大浜小、菊水中
鹿本	稲田小
菊池	大津南小 菊池北中
阿蘇	長陽中
熊本	河内小、小島小、京陵中清水ヶ丘分校、吉松小、山東小、植木北中、碩台小
上益城	蘇陽南小
宇城	不知火中
八代	宮地小
人吉球磨	黒肥地小
水俣芦北	津奈木中
天草	新和小、苓北中
県立学校	◎鹿本商工高校 ◎菊池農業高校 ◎小川工業高校 ○天草高校倉岳校 ○苓洋高校 ○小国高校

(2) 教育会館寄席

『会館共済第25次キャンペーン企画』として行った教育会館寄席は、学校の児童生徒に対して是非行ってほしいという声から、教育会館学校寄席を開催して5年目になりました。「会館ニュース」や「ホームページ」にて公募し、3校で開催しました。また会館共済30次記念事業として、教育会館ホール寄席も開催しました。どの公演もとても好評でした。11月28日には、開催校の代表者と柳家さん喬師匠はじめ出演者との反省会を開催し、教育会館が目指す学校寄席について意見交換を行いました。

《開催日・場所》

- ・11月26日（水）水俣市立湯出小学校
- ・11月27日（木）玉名市立鍋小学校
- ・11月28日（金）宇土市立網田小学校
- ・11月29日（土）熊本市国際交流会館（教育会館ホール寄席）

(3) 熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部との共催事業

熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業を支援し、日本の伝統文化や芸能の振興を図るため、月1回の練習会や大会等に会場を無料で提供しています。

2月22日には熊本県かるた協会主催の「第27回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を後援しました。今年も県下各地から多数の参加があり熱戦を繰り広げました。

(4) 教育会館アートのひろば

会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より『教育会館アートのひろば』を開催しています。熊本の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。

第8期（平成25年10月～26年5月）

- ・1月期は、村中妙子氏（熊本市）の油彩画展
- ・2月期は、三浦和昭氏（美里町）の油彩画展
- ・3月期は、長嶋康雄氏（熊本市）の油彩画展
- ・4月期は、山下多恵子氏ほか7名（天草市）の油彩画展
- ・5月期は、古賀義文氏（南関町）の水彩画、油彩画展

第9期（平成26年10月～27年5月）

- ・10月期は、作本浩一氏（玉名市）の油彩画展
- ・11月期は、境屋佐代子氏（宇土市）川本芙美子（宇城市）の油彩画展
- ・12月期は、梨本マスマ氏（熊本市）の油彩画展
- ・1月期は、横山博之氏（熊本市）の油彩画展
- ・2月期は、中村公一氏（天草市）の油彩画展
- ・3月期は、石井小夜子氏（熊本市）の油彩画展
- ・4月期は、福田次子氏（宇城市）の油彩画展
- ・5月期は、南洋子氏（熊本市）の油彩画展

(5) その他の教育文化事業として、メンタルヘルス『こころゆったり講座』を8月11日に教育会館で開催し、臨床心理士の江崎百美子先生（熊本県臨床心理士会会長）のご講演「心と身体を癒すリラクゼーション」と昼食でゆっくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は18名でした。

育児休業者現場復帰支援『カムバックセミナー』を11月12日に火の国ハイツで開催しました。県教育委員会学校人事課の川附参事、村山参事のご講演「育児等に関する諸制度の活用について」と教育政策課福利厚生室の柿原参事のご講演「共済組合関係」をしていただきました。また今年度はこれまで要望が多かった「育児休業経験者のお話」を嘉島中の門田教諭にいただきました。その後ティータイムを楽しんでもらいました。参加者は54名で、託児は51名でした。またその中からの要望があり平成22年12月から始めました「パパママ広場」も月1回開催が定着し好評を得ています。

教職員及び教育会館周辺の地域住民対象の「ヨガ教室」は3年目を迎え、参加者も増加し好評です。

また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人『ハートライン』（現在はハートライン事務局の都合により休止中）を支援するとともに、教職員向けの電話相談室『レモングラス』を毎週火曜日に開設しています。

5. 事務受託事業（熊本県教職員厚生情報センター）について

(1) センターの運営については、設立加盟団体の熊本県教職員組合、生協くまもと、教育会館で協議を行い、平成27年度からは業務委託契約に基づき教育会館が運営主体となることを確認しました。またセンターシステムをより使いやすくするためにシステム改修（修繕）を行いました。

利用代金の請求及び収納については、平成26年3月より1年余順調に運用できています。

(2) 個人情報の適正管理については、個人情報保護基本規程の見直しを行い、またコンピュータのセキュリティシステムの導入及び防犯カメラの設置等を行い、適正運用につながるように努めました。

センターの監査体制については、ユース会計社やセンターシステム委託先のK I Sと協議し、その構築を図っています。